

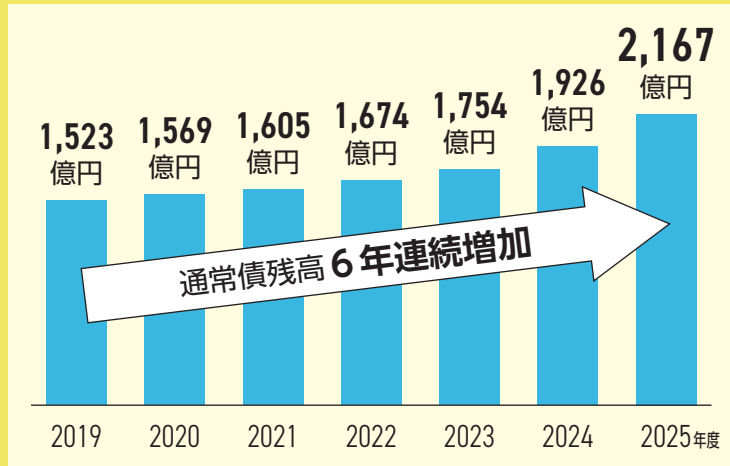
CHECK1

借金が6年連続増

ハコモノ増加が要因

大森市長の直近6年間で市の借金は連続増加。いわゆるハコモノ建設に使う普通建設事業費が8年で倍に増えていることが原因の一つです。さらに、以前は公表していた借金を含む財政状況の将来見通しを今では出さなくなっています。

将来の市民負担となる借金を増やしてまで、いま大型ハコモノを次々とやるべきではありません。



チェンジ!

大型事業よりくらし・いのちを守る予算に

CHECK2

路面電車100m延伸に122億円

路面電車岡山駅前広場乗り入れの工事が2027年3月完成予定で進められており、今夏からは軌道を駅前広場に乗り入れるための具体的な工事が始まる予定です。経費は当初10億円と言っていましたが、どんどんふくらみ、122億円になっています。路面電車の乗り場を100メートル駅に近づけるのに大変な出費です。

岡山市では住民の4分の1の18万人が公共交通不便地域に住んでいます。車の免許を返納したら買い物にも病院にも行けない高齢者にタクシー券を配るなどの政策こそ必要です。

提案!

交通不便地域の解消とタクシー券を

CHECK3

水道管耐震化わずか2割

水道管の管路全体の耐震化率は24年度末で21.8%しかありません。市の予測では南海トラフ巨大地震で40万人が断水します。それなのに年1%だった水道管更新のペースを昨年度から年0.7%に遅らせています。更新の財源を水道料金だけに頼り、「独立採算」に固執するからです。党市議団は税金を使って耐震化を急ぐことを求めています。

ありますが、市長は拒否しています。能登半島地震では、長期の断水が生活再建を遅らせています。水道インフラ整備の重要性が明らかになりました。「独立採算」では、もう限界です。

チェンジ!

税金投入で耐震化急げ

CHECK4

学校給食がピンチ

物価高騰が岡山市の小中学校の学校給食にも大きく影響し、食材数や摂取カロリーが下がっていることが分かりました。市は2021年度から25年度まで計6回、保護者負担軽減のため学校給食費に補助してきましたが、結果として足りていないことが明らかになりました。

一方で市長は、岡山市の学校給食の単価が政令市平均より高いことを問題視し、平均並みにコストカットを行うと宣言しています。国に学校給食無償化の動きがあり、早期実現が望まれます。同時に、岡山市として、無償化にかかわらず学校給食の中身をどう充実

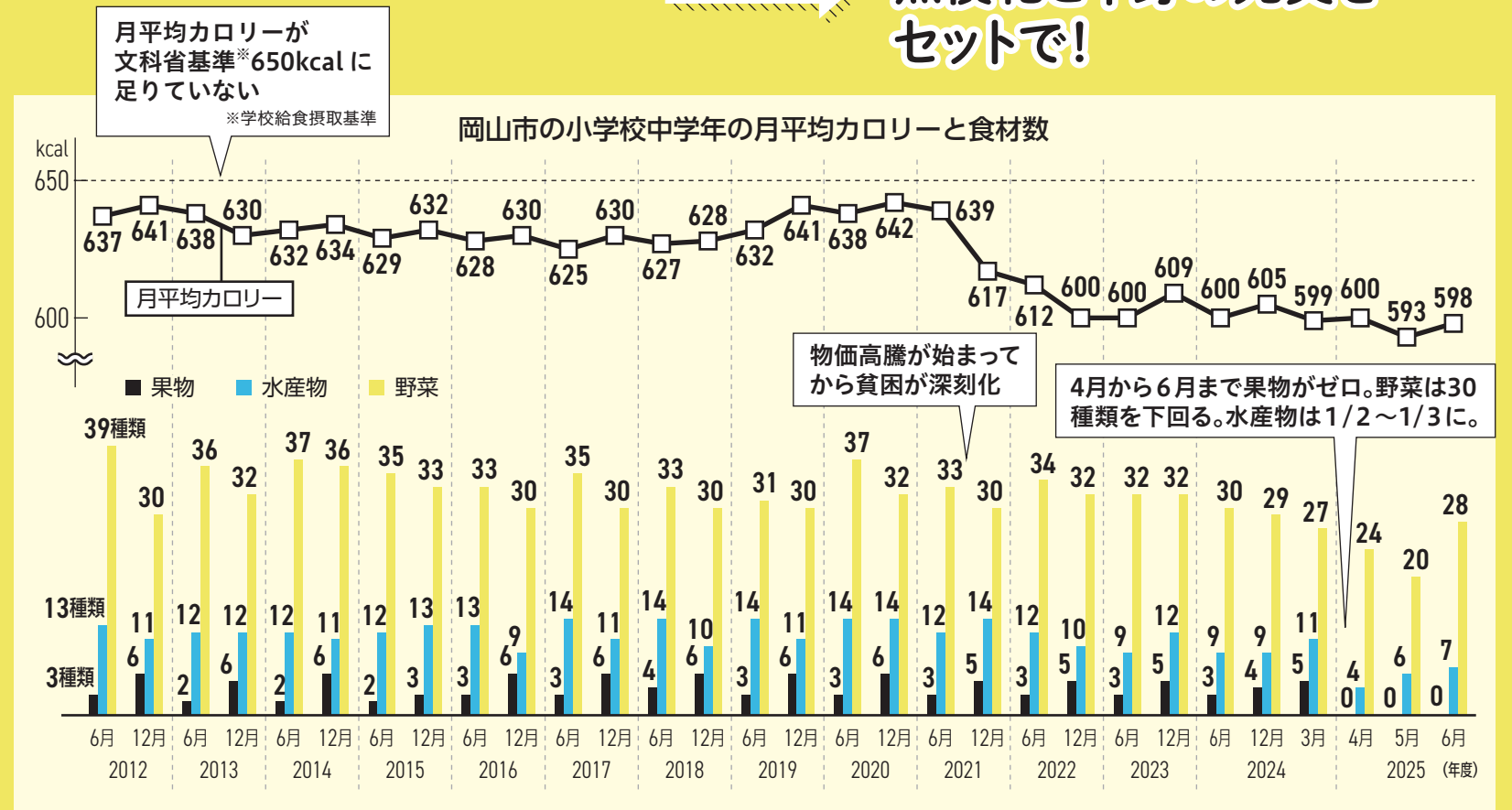


させるかが問われます。学校給食は、バランスの良い栄養摂取とともに、食育や地場農業支援の側面も重要です。単に安ければ良いというものではなく、むしろ質を確保し高めるための公費投入こそ必要です。

党市議団は、文科省基準を明確に目標とするなど、保護者に分かりやすい基準を設けることを求めています。地域の多様な農水産物を使用することと地元生産者を支援する観点から、農林水産予算を活用した支援の仕組みをつくることも提案しています。

チェンジ!

無償化と中身の充実をセットで!



CHECK5

農業予算は減少

米の店頭価格は高止まりが続いています。問題の根本には、外国農産物の輸入を拡大するなど食糧自給を軽視し、コメの生産や価格に対する国の責任を放棄し、農家の減少を放置してきた自民党農政があります。

岡山市でも農業従事者の平均年齢は70歳を超え、農家戸数も減少が続いています。しかし、

大森市政も“儲かる農業”支援が主で、国以上の支援策はあまりありません。農林水産業費は、一般会計中の割合が12年前の2.2%から今年度は1.7%と減少しています。党市議団が提案している市独自の価格保障・所得補償は実施しようせず、農業振興の計画に学校給食を位置づけることにも否定的です。

チェンジ!

いまこそ農家支援拡充でコメ増産を



6月議会で賛否の分かれた陳情

○ = 賛成・可決、× = 反対・否決

	結果	共産	自民	公明	創政	みら	懐か	おか	維新
消費税5%以下への引き下げとインボイス制度の廃止を求める	×	○	×	×	×	○	×	○	×
障害者のハレカハーフ使用バス運賃を100円均一にすることを求める	×	○	×	×	×	○	×	○	×

会派名…みら＝みらいえ(鬼木・土田・高成議員)、懐か＝懐かしい未来(森山・川上議員)、おか＝おかやま未来プロジェクト(中島議員)、維新＝日本維新の会岡山市議団(前島議員)

議会日程

2025年9月定例会		決算特別委員会(2024年度決算審査)	
8/21(木)	請願・陳情締切	10/14(火)	代表質疑
26(火)	議会運営委	15(水)	分科会(概要説明)
9/1(月)	開会	24(金)~28(火)	分科会(審査)
5(金)~9(火)	一般質問	31(金)	意見表明・表決
10(水)	常任委	※11月議会初日に本会議で採決	
12(金)	議会運営委		
16(火)	本会議(討論、採決)		

編集後記

参院選でも昨年の衆院選に続けて自民党・公明党が過半数割れをしました。政治を変えたい、という国民の審判です。日本共産党の議席が後退したのは悔しいですが、政治が大きく動く可能性が広がったと考えています◆一方、「外国人優遇はおかしい」と根拠のない主張をする政党が伸びました。差別と分断は、民主主義とは相いれません◆地方の多文化共生やジェンダー平等も脅かされることが心配です。草の根の交流による相互理解と友好、男女共同参画を地方から進めることが大切です。